

問1 鎌倉幕府が「六波羅探題」という機関を新たに設置した目的と、その背景にある出来事の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2016年

茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|---|
| 1. モンゴル帝国の襲来(元寇)に備え、九州沿岸の警備と西国武士の指揮を執るため | 2. 室町幕府の内紛である観応の擾乱を受け、京都の治安維持を専門に行うため | 3. 源頼朝が征夷大將軍に任命された際、京都の公家との外交交渉を円滑に進めるため | 4. 後鳥羽上皇が倒幕の兵をあげた承久の乱の後、朝廷を監視し西日本の統治を強化するため |
|--|---------------------------------------|--|---|

問2 現在の山口県下関市の南端に位置する壇ノ浦は、源平合戦の最後の舞台となった地です。この地で平氏が滅亡するまでの様子を記した物語の名称と、その作品の種類として正しい組み合わせはどれですか。 (2016年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------|----------------|---------------|----------------|
| 1. 土佐日記 — 日記文学 | 2. 平家物語 — 軍記物語 | 3. 太平記 — 軍記物語 | 4. 源氏物語 — 作り物語 |
|----------------|----------------|---------------|----------------|

問3 13世紀後半のモンゴル帝国の襲来(元寇)の後、鎌倉幕府は生活に困窮した御家人を救済するための法令を出しました。御家人が借金の担保として手放した領地を無償で取り戻させるなどの内容を含んだ、この法令の名称を答えなさい。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|------------|----------|----------|
| 1. 徳政令 | 2. 墾田永年私財法 | 3. 武家諸法度 | 4. 御成敗式目 |
|--------|------------|----------|----------|

問4 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府に対して挙兵した承久の乱の後、幕府が京都に「六波羅探題」を設置した主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 元(モンゴル帝国)の侵攻に備え、西日本の海岸線の防御を固めるため | 2. 幕府の財政を立て直すため、京都の商人から税を徴収するため | 3. 征夷大將軍の補佐役として、幕府全体の政治の実権を握るため | 4. 朝廷の動きを監視し、西国武士の統制や京都の警備を行うため |
|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|

問5 二度にわたる元寇を退けたにもかかわらず、その後の鎌倉幕府の支配体制が不安定になった背景には、恩賞をめぐる問題がありました。その理由として正しい説明はどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|---|---------------------------------------|--|
| 1. 博多湾に築いた石築地の建設費用を、すべて御家人の自己負担としたため | 2. 元との講和条件として、幕府が多額の賠償金を支払うことになり財政が破綻したため | 3. 元寇の混乱に乗じて、北条氏が他の有力御家人の領地をすべて没収したため | 4. 防衛戦であったため敵から奪った土地がなく、戦った武士に十分な恩賞を与えられなかったため |
|--------------------------------------|---|---------------------------------------|--|

問6 1221年に起こった承久の乱のあと、鎌倉幕府が朝廷の動きを監視し、あわせて西国の武士を統制するために京都に設置した機関として正しい名称を選びなさい。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|-------|----------|-------|
| 1. 京都所司代 | 2. 守護 | 3. 六波羅探題 | 4. 地頭 |
|----------|-------|----------|-------|

問7 鎌倉幕府の政治体制において、將軍の下に置かれ、幕府の政務を統括して將軍を補佐した最高職と、御家人の統制や軍事・警察の役割を担った組織の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|----------|----------|----------|
| 1. 執権と問注所 | 2. 執権と侍所 | 3. 老中と政所 | 4. 管領と侍所 |
|-----------|----------|----------|----------|

問8 12世紀後半、日宋貿易によって中国との交流が盛んになる中で、僧の栄西が宋から伝えた仏教の一派があります。幕府の保護を受けて武士層を中心に広まり、座禅などの修行を重視したこの宗派の名称として適切なものを選んでください。 (2019年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|-------|--------|---------|
| 1. 浄土宗 | 2. 時宗 | 3. 臨済宗 | 4. 浄土真宗 |
|--------|-------|--------|---------|

問9 室町時代の絵巻物には、琵琶という楽器を弾きながら各地を巡り、物語を語り聞かせる「琵琶法師」の姿が描かれています。彼らによって語り継がれ、平氏一族の繁栄から滅亡までの過程を力強い和漢混交文で描いた軍記物語の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。 (2017年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 源氏物語 | 2. 太平記 | 3. 平家物語 | 4. 保元物語 |
|---------|--------|---------|---------|

問10 紀伊国の阿氏河荘(あてがわのしょう)という荘園では、地頭が農民を不当に働かせたり、年貢を横領したりといった横暴を働いていました。これに苦しんだ農民たちは、自分たちの窮状を訴える文書を「土地の本来の持ち主」へ送りました。この訴えの宛先となった、当時の土地支配の中心的な勢力として正しいものはどれですか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 將軍や執権 | 2. 管領や大老 | 3. 貴族や寺社 | 4. 守護や地頭 |
|----------|----------|----------|----------|

問11 鎌倉時代、幕府を支える御家人の生活が困窮し、徳政令が出される背景となった社会的な要因について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 一人の嫡子にすべての領地を相続させる仕組みが普及し、一族内の対立が激化した。 | 2. 幕府が御家人に対して全国一律の重い税を課したことで、農村経営が行き詰まった。 | 3. 領地を子に分割して相続させたことで、代を重ねるごとに一人あたりの領地が小さくなった。 | 4. 貨幣経済が浸透したことで、農村での年貢の取り立てを厳しくせざるを得なくなった。 |
|---|---|---|--|

問12 鎌倉幕府が設置した「守護」と「地頭」の違いについて述べた文として、地頭の性質を正しく説明しているものはどれですか。 (2026年

千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 荘園や公領といった単位ごとに細かく設置され、現地の年貢徴収を担った。 | 2. 承久の乱の後に、後鳥羽上皇を監視するために京都に設置された。 | 3. 裁判の公平を期すために、御家人たちの訴訟を取り扱うために設置された。 | 4. 原則として国ごとに一名設置され、大番催促などの軍事的な権限を持った。 |
|---------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|

問13 13世紀後半、元との戦い(元寇)での恩賞が不十分だったことや、貨幣経済の浸透によって、多くの御家人が領地を質に入れたり売却したりして生活が困窮しました。こうした御家人を救済することを目的として、1297年に鎌倉幕府が出した法令を何といいますか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 公事方御定書 | 3. 武家諸法度 | 4. 永仁の徳政令 |
|----------|-----------|----------|-----------|

問14 13世紀の歴史的な出来事を整理した年表において、鎌倉幕府の成立から承久の乱を経て、武士による政治(武家政治)が確立されていく過程を示す具体的な出来事として最も適切なものはどれか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|--|------------------------------------|
| 1. 聖徳太子が冠位十二階を定め、才能ある人材を役人に登用した。 | 2. 足利義満が明との間で勘合貿易を始め、経済的な基盤を固めた。 | 3. 北条泰時が武士の慣習をまとめた御成敗式目を制定し、裁判の基準を明確にした。 | 4. 徳川家康が江戸幕府を開き、武家諸法度を制定して大名を統制した。 |
|----------------------------------|----------------------------------|--|------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 後鳥羽上皇が倒幕の兵をあげた承久の乱の後、朝廷を監視し西日本の統治を強化するため	承久の乱以前の幕府は、主に関東を中心とした支配を行っていましたが、乱の勝利によって西日本にも大きな支配力を持つようになりました。朝廷による倒幕の動きを二度と許さないよう、監視の拠点として六波羅探題を設置し、西日本の地頭の統制や裁判も担わせることで、幕府による全国支配が強まるきっかけとなりました。
問2	答え 2 平家物語 ― 軍記物語	壇ノ浦の戦いなどの実際の合戦を題材に、武士の活躍や悲劇を描いた文学作品は軍記物語と呼ばれます。平氏の滅亡を描いた『平家物語』はその代表例であり、鎌倉時代に成立しました。
問3	答え 1 徳政令	元寇において防衛戦を行った御家人たちは、自費で軍役を負担したにもかかわらず、侵略の阻止が目的であったため新たな領地の獲得がなく、十分な恩賞を得ることができませんでした。生活が苦しくなった御家人が領地を売ったり質に入れたりしたため、幕府は1297年に「永仁の徳政令」を出し、領地の無償返還などを命じて御家人の保護を図りました。
問4	答え 4 朝廷の動きを監視し、西国武士の統制や京都の警備を行うため	承久の乱で朝廷側に勝利した鎌倉幕府は、再び朝廷が幕府を倒そうとする動きを見せないよう、監視を強める必要がありました。また、それまで幕府の影響力が弱かった西国（西日本）の武士を統制する拠点として、京都の六波羅にこの機関を設置しました。江戸時代の京都所司代などと混同しないよう注意が必要です。
問5	答え 4 防衛戦であったため敵から奪った土地がなく、戦った武士に十分な恩賞を与えられなかったため	鎌倉幕府の基盤は、将軍が領地を保証する「御恩」と、武士が軍役を果たす「奉公」という主従関係にありました。通常の国内の戦いであれば、敗れた側から没収した土地を恩賞として分配できましたが、元寇は外国の侵略を防ぐ防衛戦であったため、新たに与える土地が不足していました。自費で軍役を果たしたにもかかわらず十分な報いを受けられなかった武士たちの不満は、幕府への不信感につながり、後の幕府滅亡の遠因となりました。
問6	答え 3 六波羅探題	承久の乱で朝廷側に勝利した鎌倉幕府は、それまで支配力が弱かった西日本への統制を強める必要がありました。そこで、かつて平氏の拠点であった京都の六波羅に、朝廷の監視や西国の御家人の統制、さらには裁判業務などを担う機関を設置しました。江戸時代に京都の監視を行った京都所司代との混同に注意が必要です。
問7	答え 2 執権と侍所	鎌倉時代において、北条氏が世襲した執権は、将軍を補佐し幕府の実権を握る極めて重要な役職でした。一方、侍所は幕府創設期から置かれ、御家人の統制や軍事、さらには鎌倉市中の警備など警察的な役割を担っていました。選択肢にある管領は室町幕府の、老中は江戸幕府の役職であるため混同に注意が必要です。
問8	答え 3 臨済宗	栄西が宋から伝えたのは臨済宗です。鎌倉時代には日宋貿易を通じて新しい仏教が日本に流入しましたが、臨済宗は特に幕府との結びつきを強め、後の五山文化の発展にも寄与しました。浄土宗は法然、浄土真宗は親鸞、時宗は一遍が開いた宗派であり、これらは念仏を唱えることで救われるとする教えで、禅宗とは特徴が異なります。
問9	答え 3 平家物語	鎌倉時代から室町時代にかけて、武士の活躍や戦乱の様子をテーマとした「軍記物語」が数多く制作されました。その代表作である平家物語は、文字を読めない庶民の間にも、琵琶法師による語り（平曲）を通じて広く普及しました。源氏物語は平安時代の中期に紫式部によって執筆された物語、太平記は南北朝時代の動乱を描いた軍記物語です。
問10	答え 3 貴族や寺社	鎌倉時代の地方の土地（荘園）は、法的には京都の貴族や大きな寺社が「荘園領主」として所有していました。幕府から派遣された武士である地頭が農民に対して不当な要求を行った際、農民たちは「本来の主人」である荘園領主に助けを求めるため、訴状を送って抗議しました。阿氏河荘の百姓訴状はその代表的な事例です。
問11	答え 3 領地を子に分割して相続させたことで、代を重ねるごとに一人あたりの領地が小さくなった。	鎌倉時代初期、武士の間では「分割相続」という、子に領地を分けて継承させる仕組みが一般的でした。しかし、この方法を繰り返すと、世代交代のたびに個々の武士が持つ領地が細分化され、収益が減少して生活が苦しくなりました。これに加え、元寇による軍役の負担や貨幣経済の広がりによる借金が重なり、御家人は困窮しました。幕府は借金を帳消しにする「徳政令」を出して救済を図りましたが、かえって経済の混乱を招くこととなりました。
問12	答え 1 荘園や公領といった単位ごとに細かく設置され、現地の年貢徴収を担った。	守護と地頭は、配置される地理的単位と役割が異なります。守護は「国」単位で置かれた軍事・警察的な役職であるのに対し、地頭はより狭い「荘園（私有地）」や「公領（国衙領）」ごとに置かれた、経済的・実務的な土地管理職でした。この地頭の配置によって、幕府の支配力が全国の隅々まで及ぶことになりました。
問13	答え 4 永仁の徳政令	元寇の防衛戦は恩賞となるべき獲得領土がなかったため、幕府は戦費を負担した御家人に十分な賞与を与えることができませんでした。生活苦に陥った御家人が手放した領地を取り戻させることで、幕府の軍事力の基盤である御家人体制を維持しようと試みたのが永仁の徳政令です。
問14	答え 3 北条泰時が武士の慣習をまとめた御成敗式目を制定し、裁判の基準を明確にした。	承久の乱を経て幕府の権力が全国へ広がる中、武士同士の領地争いを公平に裁く必要性が高まりました。北条泰時が制定した御成敗式目は、武家社会の慣習を成文化した初めての法律であり、武家政治を法的な側面から支える重要な役割を果たしました。